博物館だより

〔収蔵資料紹介〕瑞龍寺仏殿鉛瓦

年代：江戸後期，寸法：直径14.5cm×高さ1.8cm×厚さ0.3cm，当館蔵

国宝・瑞龍寺仏殿の鉛製の軒丸瓦。鉛板を槌で叩き、前田家の家紋「梅鉢」を打ち出して成形している。これを木瓦に被せて使用された。

同寺は加賀前田家三代当主・前田利常が先代当主で、異母兄の前田利長の菩提を弔うために建立した曹洞宗の寺院。仏殿は万治2年（1659）に竣工したが、屋根は当初から鉛葺きではなく、はじめ柿葺き、次いで瓦で葺かれ、延享元年（1744）から寛政8年（1796）までの間に鉛葺きにされたと考えられている。

利長くん

平成26年度の高岡市立博物館

◆常設展「高岡ものがたり ー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」・お宝コーナー◆

平成26年度、本展示コーナーでは3つのミニ展示を行いました。**「2014年！干支づくし」**（会期：3/12 ～ 5/31）では、当館が収蔵する本市ゆかりの漆芸作家・彼谷芳水作「鳳凰文飾盆」（越野培名男氏・越野信子氏寄贈）をはじめ、今年の干支・午（馬）、七福神、鯛などの吉祥資料（計5件8点）を展示・紹介しました。**「高岡産業博覧会ポスター展」**（会期：6/13 ～ 11/30）では、昭和26年（1951）の同博覧会（会場：高岡古城公園）開催の折に制作され、本展の報道で新発見となった郷倉千靱のポスター・ポスター原画（計3点）を展示・紹介しました。現在開催中の**「高岡の引札」**（12/16 ～）では、高岡山町の旧家・室崎家に伝わった明治から大正期頃の高岡の引札（計10点）を展示・紹介しています（次年度6月14日まで開催）。

「2014年！干支づくし」

「高岡産業博覧会ポスター展」

「高岡の引札」

館蔵品展**「未来へつなぐ高岡のお宝 ―新収蔵品を中心に―」**（会期：H26.2/8 ～ 5/6）では近年新たに収蔵した資料や、これまで展示する機会の少なかった資料（計81件90点）を展示・紹介しました。企画展**「むかしの人はどんな道具を使っていたの？」**（前期：4/1 ～ 7/6、後期：7/8 ～ 10/13）では、当館収蔵の民具（約60件）を展示し、その用途や道具の変遷について紹介しました。特別展**「夢はこぶ“かがやき”―軌道117年のあゆみ―」**（会期：7/26 ～ 10/13）では、平成27年3月14日の北陸新幹線開業にあわせて、鳥瞰図や地図、鉄道関係資料（計128件175点）を展示し、高岡における鉄道の歴史について紹介しました。現在は館蔵品展**「高岡捺染の祖・笹原文次資料展」**（H27.2/7 ～）を開催中です（次年度5月6日まで開催）。

講演会は、**「前田利長ゆかりの人々」**をテーマに、前田利長とゆかりの深い人々（まつ・永姫・満姫・本多政重）等に焦点をあてた郷土学習講座（全4講）のほか、特別展講演会も開催しました。このほか、桜の満開時期に合わせた屋上開放**「古城公園展望台」**、40分間のミニ講座**「高岡のみじかい話」**、当館茶室「松聲庵」で行う**呈茶の会**（4/12･11/8）、**「博物館の仕事って何だろう？―きみも今日から“学芸員”―」**（8/23）、古文書講座**「初めての古文書教室」**（9 ～ 12月。全6講）を開催するなど、今年度も多くの方々に博物館へご来館いただきました。

屋上開放「古城公園展望台」(4/11～13)

郷土学習講座　瀬戸氏講演(5/17)

特別展「夢はこぶ“かがやき”」展示説明会(7/26)

館蔵品展「高岡捺染の祖・笹原文次資料展」

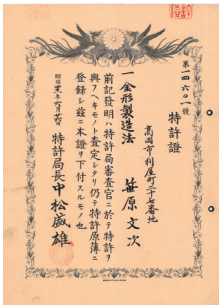
〔会期：平成27年2月7日(土) ～ 5月6日(水・振休)〕

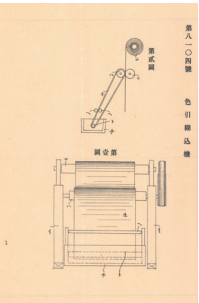
笹原文次肖像
（笹原荘太郎氏寄贈。以下同）

江戸時代、高岡は加賀藩内で唯一綿の専売権を許され、関西や山陽方面から移入した綿を新川郡で織り、再び高岡に集めて染色加工を施した「高岡染」を各地に移出して名声を博していました。ところが明治に入ると、京阪地方の新しい染色工業にその販路を狭められます。

こうした業界の難局を乗り切るべく、明治後期に高岡捺染（プリント染）を重要な特産に位置づけたのが、笹原文次(1857 ～ 1927) です。文次は、新たな染色機械の開発・研究に力を注ぎ、高岡捺染に関する専売特許（5件）・実用新案登録（3件）を取得しました。その中でも「金形製造法」に関連する亜鉛板型の開発・導入は、良質な製品の増産へと繋がりました。文次考案の「新モス友禅」は各種の博覧会で受賞を重ね、明治42年(1909) の皇太子行啓の際には御買上げの栄に浴するなど、高岡捺染の名声を広く知らしめました。明治末頃には同業者の増加に伴ない、市内にも多くの工場が設立されるなど、徐々に捺染業界は盛り上がりを見せていきました。

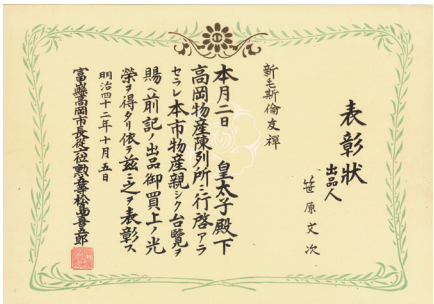
その後の捺染産業は、戦時体制の始まる昭和12年(1937) まで躍進を続けました。同年には全国一位の生産額となり、銅器と並ぶ高岡の主要産業の一つに成長しました。戦後は主に輸出に力を入れながら、平成初期まで生産が続けられました。





〔左〕特許証「金形製造法」(明治41年)
〔右〕実用新案登録証「色引糊込機」図面(同上)

各種部分模様捺染亜鉛板型(明治後期)



皇太子殿下新モスリン友禅御買上につき表彰状
(明治42年)

◆新収蔵資料紹介（平成27年１月31日現在）

・購入（21件109点、購入順）

No.	資　料　名　称	数量	分類
1	絵葉書「高岡古城公園」(土橋石垣)	2	歴史
2	絵葉書「高岡公園」(中の島)	2	歴史
3	絵葉書「高岡市桜馬場公園」(手彩色)	1	歴史
4	写真「富山県立高岡高等女学校」	3	歴史
5	写真「大一青果問屋」	1	歴史
6	「朝日新聞」高岡号外（昭和33年5月23日付）	1	歴史
7	高岡市地図（1945年米陸軍地図局発行）データ CD	1	歴史
8	富札（高岡町仕法講）	1	民俗
9	「富山県観光道路図」(昭和49年、16万分の1)	1	歴史
10	「富山県高岡市　物産案内」	1	産業
11	都市地図「高岡市」(昭和62年、1万8千分の1)	1	歴史
12	高岡古城公園絵葉書	5	歴史
13	絵葉書「高岡物産陳列所」	1	歴史
14	絵葉書「越中義経雨晴シ」(棚田書店発行)	1	歴史
15	絵葉書「高岡山瑞龍寺全景」	1	歴史
16	絵葉書「高岡公園皇太子殿下行啓御野立所」	1	歴史
17	『藤子・F・不二雄複製原画集』(小学館、平成12年)	30	民俗
18	高岡関係絵葉書（7件15点）	15	歴史
19	高岡関係絵葉書（3件37点）	37	歴史
20	『高岡産業案内』(高岡商工会議所、昭和10年・同11年)	2	歴史
21	『高岡商工案内』(高岡商業会議所、大正12年)	1	歴史

・寄贈（16件154点、受入順）

No.	資　料　名　称	数量	分類	寄贈者
1	高札「二上橋賃銭定」(明治6年)	1	民俗	石田敏雄氏
2	佐伯春芳筆「山水図屏風」(六曲一双)	2	美術	古谷昭史氏
3	官製はがき「高岡御車山」	2	歴史	稲塚幸枝氏
4	高岡絵葉書（古城公園・桜馬場）	3	歴史	匿名希望
5	第13回国民体育大会記念切手シート	20	歴史	匿名希望
6	１づくし記念押印（高岡市制100年記念）	1	歴史	匿名希望
7	入営祝旗（昭和11年）	1	歴史	中野弘氏
8	千人針（昭和期・戦中）	1	歴史	中野弘氏
9	富山県西砺波郡山王尋常高等小学校等証書・賞状（有澤家宛）	97	歴史	匿名希望
10	アルミ製弁当箱（昭和期）	1	民俗	川田フサ氏
11	アルミ製水筒（昭和期）	1	民俗	藤井喜代乃氏
12	ナショナル　卓上ガスコンロ（昭和30年代）	1	民俗	高岡ホテル
13	チラシ「日立テレビ」(昭和43年以降)	1	民俗	匿名希望
14	二代石井勇助作「古代花果文会席膳」	10	美術	山崎利男氏
15	高岡捺染　プリント生地見本帳（昭和51年。㈱日本プリント工場）	10	産業	林泣童氏
16	高岡捺染　プリント生地見本（平成12年頃）	2	産業	匿名希望

郷土の歴史資料などの情報を求めています

歴史資料や生活資料は、社会の変遷や興亡の足跡を理解する上での貴重な文化遺産です。当館では、古文書・生活資料などの収集保存を行い展示に活かしたいと思っています。情報をお持ちでしたら、是非当館までご提供をお願いいたします。

高岡市立博物館 スケジュール 2015年4月～2016年3月

イベントスケジュール

	展示	イベント・講座
4月	4/1 常設展「高岡ものがたり―楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアム―」〔通年開催〕 4/1 常設展・民具コーナー「むかしの人はどんな道具を使っていたの？」〔通年開催〕 4/1 常設展・お宝コーナー「高岡の引札」6/14 4/1 館蔵品展「高岡絞染の祖 笹原文次資料展」5/6	4/11 呈茶の会「松聲庵－博物館で抹茶を楽しみませんか－」
5月		5/23 常設展・民具コーナー「むかしの人はどんな道具を使っていたの？」展示説明会
6月		6/11 ミニ講座「高岡のみじかい話」 6/20 郷土学習講座①「キリシタン大名　高山右近の布教と高槻城」
7月	7/25 特別展「国史跡指定記念　高岡城跡の魅力」10/12	7/25 特別展「国史跡指定記念　高岡城跡の魅力」展示説明会①
8月		8/15 特別展「国史跡指定記念　高岡城跡の魅力」展示説明会② 8/22 ワークショップ「博物館の仕事って何だろう？－きみも今日から“学芸員”－」 8/29 郷土学習講座②「前田利長と高岡城」
9月		9/12 特別展「国史跡指定記念　高岡城跡の魅力」展示説明会③
10月		10/1 ミニ講座「高岡のみじかい話」 10/10 郷土学習講座③「高岡城、古御城から公園へ」 10/15 古文書講座「初めての古文書教室」① 10/29 古文書講座「初めての古文書教室」②
11月		11/5 ミニ講座「高岡のみじかい話」 11/7 呈茶の会「松聲庵－博物館で抹茶を楽しみませんか－」 11/12 古文書講座「初めての古文書教室」③ 11/21 郷土学習講座④「考古学で見る高岡城と城下町」 11/26 古文書講座「初めての古文書教室」④
12月		12/10 古文書講座「初めての古文書教室」⑤ 12/17 ミニ講座「高岡のみじかい話」 12/24 古文書講座「初めての古文書教室」⑥
1月		1/14 ミニ講座「高岡のみじかい話」
2月	2/6 館蔵品展	2/6 ミニ講座「高岡のみじかい話」
3月	3/31 常設展・民具コーナー・お宝コーナー・館蔵品展	3/17 ミニ講座「高岡のみじかい話」

◆平成27年度　郷土学習講座「高岡城跡の魅力をさぐる」（全4講）

「高岡城跡」の国史跡指定（H27.3月10日）にあわせて、高岡城跡にまつわる様々な話題について紹介いただく連続講座を開催します。

〔第1講〕「キリシタン大名　高山右近の布教と高槻城」
講師：中西　裕樹（ゆうき）氏（高槻市立しろあと歴史館事務長兼歴史民俗資料館長）
日程：6月20日(土)

〔第2講〕「前田利長と高岡城」
講師：木越　隆三（りゅうぞう）氏（石川県金沢城調査研究所 所長）
日程：8月29日(土)

〔第3講〕「高岡城、古御城（ふるおしろ）から公園へ」
講師：仁ヶ竹　亮介（当館主査学芸員）
日程：10月10日(土)

〔第4講〕「考古学で見る高岡城と城下町」
講師：岡本　淳一郎氏（富山県埋蔵文化財センター 企画調整課 課長）
日程：11月21日(土)

いずれも、
・時　間：午後2時～3時30分
・会　場：当館新館3階講堂
・定　員：80名（先着順）
・受講料：〔全4回〕1,000円，〔1回〕300円
　※全4講受講の親しむ会会員は100円割引
・申　込：全4回受講の方は、6月12日(金)までに①電話②FAX③メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号・親しむ会入会の有無をお知らせのうえ、お申し込みください。各回毎に受講の方は事前申込不要・当日先着順です。

◆平成27年度　古文書（こもんじょ）講座「初めての古文書教室」（全6講）

古文書（こもんじょ）は貴重な歴史の証言者です。郷土の歴史を再発見してみませんか？今年度も、古文書解読初心者の方を対象とした古文書教室を開催します。

・日　程
〔第1講〕10月15日(木)　〔第4講〕11月26日(木)
〔第2講〕10月29日(木)　〔第5講〕12月10日(木)
〔第3講〕11月12日(木)　〔第6講〕12月24日(木)
・時　間：午後2時～3時30分
・講　師：仁ヶ竹主査学芸員
・会　場：当館新館3階講堂
・定　員：60名（申込順）
・受講料：2,000円（全6回）
　※親しむ会会員は200円割引
・申込期間：9月29日(火) 午前9時～
　10月3日(土) 午後5時
・申込方法：①電話②FAX③メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号・勤務先名（高岡市外の方）・親しむ会入会の有無をお知らせのうえ、お申し込みください。

古文書講座「初めての古文書教室」(9/25)

◆呈茶の会「松聲庵（しょうせいあん）　―博物館で抹茶をしませんか―」

柔らかな日差しが降り注ぐ森の中の古いお茶室で、本格的なお茶席をお楽しみいただけます。古城公園へのお散歩がてら、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

・日　時：4月11日(土)、11月7日(土)
　午前10時～午後3時
・場　所：当館茶室「松聲庵（しょうせいあん）」
・参加料：400円（お茶とお菓子）
　※茶券は当日博物館受付にて販売
・茶室見学会（聴講無料）
　①午前10時30分～　②午後1時30分～
・常設展示説明会（聴講無料）
　①午前11時30分～　②午後2時30分～

茶室「松聲庵」
※1日4,320円(税込)で利用可

◆特別展「国史跡指定記念　高岡城跡の魅力」

「高岡城跡」の国史跡指定（H27.3月10日）を記念し、高岡城跡詳細調査（平成20～24年度）の成果をはじめ、当館が収蔵する高岡城跡及び高岡古城公園の絵図・地図や古写真などの関係資料を中心に展示・紹介します。

・会　期：7月25日(土)～10月12日(月・祝)
・会　場：当館新館第1企画展示室
・入館料：無料

―開館時間―
午前9時～午後5時
（入館は4時30分まで）

―休　館　日―
毎週月曜日
（月曜日が祝・休日の場合はその翌平日）
年末年始
（12月29日～1月3日）

―交　　通―
高岡駅から徒歩約15分

―入館無料―

「博物館だより」第21号　発行日：2015年3月14日　編集・発行：高岡市立博物館　富山県高岡市古城1番5号
TEL 0766-20-1572　FAX 0766-20-1570　メール info@e-tmm.info　http://www.e-tmm.info/